

令和3年3月

和歌山県警察における警察署等の再編（案）
【Q & A】

和歌山県警察本部

【警察署再編（統合）全般】

【問1】

なぜ、警察署を再編（統合）するのですか。

【答】

今回の警察署再編は、限られた人員で警察力を最大限に発揮し、全ての県民の皆様を災害から守り、将来にわたり良好な治安を提供し続けていくために行うものです。

県警察においては、県下の犯罪・交通事故の発生状況や地理的条件、人口分布等様々な事情を総合的に考察した上で、災害発生時に県民の皆様の生命・身体を守ること、日常生活における安全・安心を確保することを最優先に考えた結果、警察署の配置、警察署数の見直しが必要であるとの結論に至ったものです。

【問2】

警察署がなくなり、治安が悪くならないですか。

【答】

隣接する二つの警察署を一つの警察署に統合し、多くの警察官を集中運用することで、パトロール活動を強化したり、事件・事故に対して今よりも多くの警察官で対応できるようになり、治安の向上が期待できます。

【問3】

統合後、警察官の数が減ってしまうのではないですか。

【答】

統合により、重複する管理部門（署長、次長、課長等）の警察官等を除き、ほとんどの警察官が残るため、統合の前後で2つの警察署を合わせた人数はほぼ変わりません。

一つの警察署に多くの警察官を集めることができることから、これまで以上に大きな体制で管内（分庁舎管内を含む。）の治安維持に当たることができます。

【問4】

分庁舎になると、どのような運用になりますか。

【答】

分庁舎にはパトカーを配置し、地域のパトロール活動を行うほか、住民の利便性を考慮し、交通、生活安全にかかる許認可等事務、困りごと等の相談、遺失物・拾得物の取扱いの窓口を設置して対応します。

【問5】

他の府県でも、警察署の再編（統合）をしていますか。

【答】

警察署の再編（統合）については、全国でも随時必要に応じて実施されています。

【問6】

他県でも再編（統合）により、効果が出ていますか。

【答】

他県でも警察署の再編（統合）により、地域警察官の機動力が強化され、パトロール活動や巡回連絡の頻度が増えたと聞いております。

また、対象地域の方々からは、「パトカーをよく見かけるようになった。」
「現場にたくさんの警察官やパトカーが来てくれた。」などの声が上がっているとのこと。

【有田・湯浅警察署統合関係】

【問1】

なぜ、有田警察署は湯浅警察署に統合されるのですか。

【答】

有田警察署は、南海トラフ巨大地震等による津波被害を免れることができないことから、有田市における警察機能を確保するために、隣接する湯浅警察署に統合して多くの警察官を集中運用できる厚い体制を構築しておくことが必要です。

有田警察署は、湯浅警察署と近接しており、事件・事故等の有事に対して迅速に対応することができます。

【問2】

有田警察署は、なくなるのですか。

【答】

湯浅警察署の分庁舎として運用し、これまでどおり、パトロール活動、様々な事件・事故や災害への対応及び住民サービスを継続します。

【問3】

分庁舎では、具体的にどのような行政サービスを受けられますか。

【答】

これまでどおり、交通（自動車保管場所証明等）、生活安全（営業許可等）に係る許認可等事務、困りごと等の相談、遺失物・拾得物の取扱いを継続します。ただし、運転免許証の更新業務は、有田市の方は湯浅警察署又は和歌山県警察本部交通センターでの御案内となります。

これまで有田警察署で手続をした場合には、運転免許証の受取まで3～4週間を要しましたが、和歌山県警察本部交通センターでは即日受取が可能となります（湯浅警察署で手続をした場合は、これまでどおり、受取まで3～4週間を要します。）。

【問4】

困りごと相談をしたい場合、分庁舎でも対応してくれますか。

【答】

分庁舎に警察安全相談窓口を設置し、困りごと相談等に対応します。また、交番・駐在所でも、これまでどおり対応します。

【問5】

遺失物や拾得物は、分庁舎に届出をすれば対応してくれますか。

【答】

分庁舎でも、交番・駐在所でも、これまでどおりに対応します。

【問6】

有田市内の交番・駐在所はどうなりますか。

【答】

有田市にある交番・駐在所は、引き続き存続させます。

このうち、津波による浸水が想定される駐在所については、安全面を確保した上での運用を検討します。

【串本・新宮警察署統合関係】

【問1】

なぜ、串本警察署が新宮警察署に統合されるのですか。

【答】

串本警察署は、南海トラフ巨大地震等による津波被害を免れることができないことから、古座川町及び串本町における警察機能を確保するために、隣接する新宮警察署に統合して多くの警察官を集中運用できる厚い体制を構築しておくことが必要です。

統合は、住民の生命・身体を守るために行うものであることを御理解ください。

【問2】

串本警察署は、なくなるのですか。

【答】

新宮警察署の分庁舎として運用し、これまでどおり、パトロール活動、様々な事件・事故や災害への対応及び住民サービスを継続します。

統合後、古座川町及び串本町は新宮警察署の管轄になり、すさみ町は白浜警察署の管轄になります。

【問3】

分庁舎では、具体的にどのような行政サービスを受けられますか。

【答】

これまでどおり、交通（自動車保管場所証明等）、生活安全（営業許可等）に係る許認可等事務、困りごと等の相談、遺失物・拾得物の取扱いを継続します。ただし、運転免許証の更新業務は、串本町等の方は新宮運転免許センターでの御案内となります。

これまで串本警察署で手続をした場合には、運転免許証の受取まで3～4週間を要しましたが、新宮運転免許センターでは即日受取が可能となります。

【問4】

困りごと相談をしたい場合、分庁舎でも対応してくれますか。

【答】

分庁舎に警察安全相談窓口を設置し、困りごと相談等に対応します。また、交番・駐在所でも、これまでどおり対応します。

【問5】

遺失物や拾得物は、分庁舎に届出をすれば対応してくれますか。

【答】

分庁舎でも、交番・駐在所でも、これまでどおりに対応します。

【問6】

新宮警察署からだとの距離があることから、事件・事故発生時、警察官がすぐに来てくれないのではないですか。

【答】

統合後も事件・事故や災害対応に当たる警察官は、引き続き分庁舎に配置します。

また、分庁舎にパトカー1台を追加配備しますので、事件・事故にはこれまでよりも迅速な初動対応が可能となります。

【問7】

串本町内の交番・駐在所はどうなりますか。

【答】

串本町にある交番・駐在所は、引き続き存続させます。

このうち、津波による浸水が想定される交番・駐在所については、安全面を確保した上での運用を検討します。

【問8】

古座川町の駐在所はどうなりますか。

【答】

古座川町にある駐在所は、引き続き存続させます。

【問9】

なぜ、すさみ町は、白浜警察署のエリアになるのですか。

【答】

串本警察署管内のすさみ町と田辺警察署管内の上富田町を白浜警察署のエリアに変更し、西牟婁郡全体を白浜警察署が管轄します。

これにより行政区画との統一が図られるほか、距離的にも近く、津波被害による浸水等の危険性が低い白浜警察署の管轄となることで、事件・事故や災害発生時に迅速な初動対応が可能となります。

【問10】

すさみ町にある交番・駐在所はどうなりますか。

【答】

すさみ町にある交番・駐在所は、引き続き存続させます。

【問11】

南海トラフ巨大地震等により、大規模な被害が発生した場合、どうするのですか。

【答】

大規模な被害が発生すれば、串本警察署も多くの警察機能を喪失してしまい、迅速な災害救助活動を行うことは困難と考えられます。

そのため、串本警察署を新宮警察署に統合し、新宮警察署がサンゴ台の代替指揮所をも活用しつつ、迅速な状況把握と円滑な救出救助活動を展開したいと考えています。

【問12】

令和3年度にロケットの打ち上げが予定されており、多くの観光客が増えると予想されますが、交通渋滞、交通事故に対してどのように対応するのですか。

【答】

交通渋滞対策については、主催者、自治体、警察等の中で緊密に連携しながら的確に対応します。

また、交通事故については、新宮警察署の警察官を増員することから、パトロール活動や交通取締りを強化して交通事故の抑止に努めます。

【問13】

ロケットの打ち上げに際して、多くの観光客が増えると予想できますが、地元住民の方々とのトラブルなど、治安が悪くなりませんか。

【答】

各種トラブルや事件・事故の対応については、新宮警察署の警察官が増員されることから、多くの警察官で対応することが可能となるほか、パトロール活動も強化することができるため、良好な治安を維持することができます。